

事業所の 飲酒運転根絶 取組強化!

令和4年4月より 改正道路交通法施行規則が順次施行されます

待って!

今日も飲酒
してないです

社用車を
運転するのは、

アルコール
検知器で

✓チェック
してからです!

※アルコール検知器を用いた確認は令和4年10月1日施行

安全運転管理者は、下記の業務が義務化されます

令和4年
4月1日施行

- ✓ 運転前後の運転者の状態を目視等で確認することにより、運転者の酒気帯びの有無を確認すること。
- ✓ 酒気帯びの有無について記録し、記録を1年間保存すること。

令和4年
10月1日施行

- ✓ 運転者の酒気帯びの有無の確認を、アルコール検知器を用いて行うこと。
- ✓ アルコール検知器を常時有効に保持すること。

運転後も✓チェック
しますからね!

警察庁・都道府県警察

交通ルールを守って
つながる笑顔



自動車を使用する事業所は **安全運転管理者の選任が必須** です!

安全運転管理者の

選任

一定台数以上の自動車の使用者は、自動車の使用の本拠(事業所等)ごとに、自動車の安全な運転に必要な業務を行う者として**安全運転管理者の選任**を行わなければなりません。

自動車の保有台数に応じて副安全運転管理者の選任が必要になります。
安全運転管理者・副安全運転管理者になるには一定の要件があります。



乗車定員が11人以上
の自動車1台以上

または



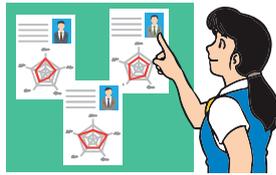
その他の自動車5台以上
※自動二輪車(原動機付自転車を除く)
は1台を0.5台として計算

安全運転管理者の

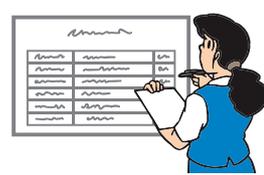
業務



交通安全教育



運転者の適性等の把握



運行計画の作成



交替運転者の配置



異常気象時等の措置



点呼と日常点検



運転日誌の備付け



安全運転指導

安全運転管理者の

届出

- 安全運転管理者等を選任した時は、その日から15日以内に事業所を管轄する警察署に必要書類を提出してください。
- 安全運転管理者の制度に関するご不明点は、都道府県警察のホームページをご覧ください。どうか警察署へお問い合わせください。



令和4年
4月より

安全運転管理者による
運転者の運転前後のアルコールチェックが
「義務化」されます。

令和4年
4月1日施行



運転前後の運転者の状態を目視等で確認

することにより、

運転者の酒気帯びの有無を確認すること



酒気帯びの有無について記録し、

記録を1年間保存 すること

令和4年
10月1日施行



運転者の酒気帯びの有無の確認を、

アルコール検知器※を用いて行う こと

※呼気中のアルコールを検知し、その有無又はその濃度を警告音、警告灯、数値等により示す機能を有する機器



アルコール検知器を **常時有効に保持** すること



安全運転管理者の制度に関するご不明点は、
都道府県警察のホームページをご覧ください。どうか警察署へお問い合わせください。

運転前後のアルコール検知器を使った チェックが義務になります！

社有車5台以上、もしくは定員11人以上の車を1台以上保有する事業所において、
運転前後のアルコール検知器を用いた測定が2022年10月より義務化される
道交法改正案が発表されました。

今回の法改正における3大義務とは？

【1. 検知の義務】

運転前後にドライバーに対して目視および**アルコール検知器を使用**して
酒気帯びの有無を確認すること。

【2. データ保管の義務】

目視およびアルコール検知器による確認の**記録を1年間保存**すること。

【3. 保守の義務】

正常に機能するアルコール検知器を常備すること。

対象について 安全運転管理者を専任している事業所

※参考：安全運転管理者選任の事業所とは
乗用車:5台以上、定員11名以上の車両:1台以上を保有している事業所。
対象事業所は安全運転管理者を選任し、警察へ届出、従業員に対して
交通安全教育を実施、管理する義務があります。

豊富なラインナップでお客様に最適な
アルコール検知器をご提案致します。

2022年10月
義務化開始
予定

白ナンバーの営業車も アルコール測定が義務化へ！

社有車5台以上、もしくは定員11人以上の車を1台以上保有する事業所において、運転前後のアルコール検知器を用いた測定が2022年10月より義務化される道交法改正案が発表されました。

義務化概要(案)

対象

- 1.社有車を5台以上所有している企業様
- 2.定員11人以上の車を1台以上所有している企業様

※上記に当てはまる企業様は、安全運転管理者を選任して警察に届け出し、クルマを運転する従業員に対して、交通安全教育を実施し、運行管理する義務があります。

義務内容

- 1.運転前後にドライバーに対して目視及びアルコール検知器を使用し酒気の有無の確認を行うこと
- 2.検査内容を記録し、1年間保存すること
- 3.正常に機能するアルコール検知器(国家公安委員会が定める機器*)を常備すること

*呼気中のアルコールを検知し、その有無またはその濃度を警告音、警告灯、数値により示す機能を有する機器

飲酒運転。
一人の油断が会社と家族を破壊する



あなたの会社は
対策
できていますか？

アルコールチェック。
ドライバーだけじゃなくみんなでチェック



運転前後のアルコールチェックが必須！

こんな時にも
アルコールチェック！

事務所でも…



外出先でも…



このようなお困りごとはございませんか？

どの機種を導入すればよいの？

いくらかかるんだろう？

毎月のランニングコストはかかるの？



どのような手間がかかるの？

検知器を購入すればすぐ使えるの？

点呼や出退勤などと連動できるの？

おまかせください！最適な解決策をご提案いたします。

豊富なラインナップ商品を取り扱っています。詳しくは裏面をご覧ください

取り扱いおすすめのアルコール検知器ご紹介

事務所設置型



松

ALC-PRO II 東海電子株式会社製

初期費用	¥413,500円～
ランニング	¥98,000円 →1年or60,000回使用時のセンサー交換費用
記録方法	PCに管理ソフトを入れることによりデータ記録可能
本体価格	¥306,000

※初期費用には本体、呼気フィルター、専用マウスピース、保守費用、送料が含まれております

↓紹介動画



様々な拡張対応可能

持ち運び可能型

ALC-mobile II 東海電子株式会社製



初期費用	¥151,500円～
ランニング	¥10,000円 →1年使用時のセンサー交換費用
記録方法	スマホ (Androidのみ) からメールを使用し、専用ソフトにてPCでのデータ記録可能
本体価格	¥78,000

※初期費用には本体、専用マウスピース、管理ソフト、保守費用、送料が含まれております

測定結果がリアルタイムで確認可能

竹

ALC-mini IV 東海電子株式会社製

初期費用	¥148,300円～
ランニング	¥8,000円 →1年or15,000回使用時のセンサー交換費用
記録方法	紙記録、又はUSBメモリを使用しPC管理も可能
本体価格	¥128,000

※初期費用には本体、専用マウスピース、ロール紙、保守費用、送料が含まれております

↓紹介動画



AC-018 株式会社東洋マーク製作所製



初期費用	¥96,500円～
ランニング	¥20,000円 →1年or10,000回使用時のセンサー交換費用
記録方法	スマホ (IOS/Android) からメールを使用し、専用ソフトにてPCでのデータ記録可能
本体価格	¥35,000

※初期費用には本体、専用マウスピース、管理ソフト、保守費用、送料が含まれております

免許証リーダー搭載により、簡易測定可能

IOS/Android接続可能

梅

AC-015 株式会社東洋マーク製作所製



初期費用	¥87,000円～
ランニング	¥12,000円 →1年or15,000回使用時のセンサー交換費用
記録方法	SDカードを媒体にPC管理が可能 さらにプリンター接続することで紙での管理も可能
本体価格	¥60,000

※初期費用には本体、専用マウスピース、USBケーブル、管理ソフト、センサー交換費用、送料が含まれております

AC-016 株式会社東洋マーク製作所製



初期費用	¥20,500円～
ランニング	¥6,000円 →1年or1,000回使用時のセンサー交換費用
記録方法	手書き/手入力によって紙/PCでの記録
本体価格	¥13,000

※初期費用には本体、専用マウスピース、保守費用、送料が含まれております

Bluetooth接続でスマホ・プリンターに対応可能

安価で精度の高いセンサーを搭載

その他タニタ製、サンコーテクノ製のアルコール検知器についても取り揃えております。ご希望の商品がございましたら下記問い合わせ先までご連絡お願いいたします。

システム商品のため別途お見積りいたします。